

日本のものづくりの競争力再生と 産業構造転換の促進に関するアンケート

調査結果の概要

1. 調査の目的と回答状況

(1) 調査の目的

- ・経済委員会の提言作成にあたり、ものづくりの競争力再生と産業構造転換の促進に関わる事項について調査を実施

(2) 回答状況

- ・発送先数:663社、回答総数:205社、回答率:31%

(3) 回答者の属性(業種別)

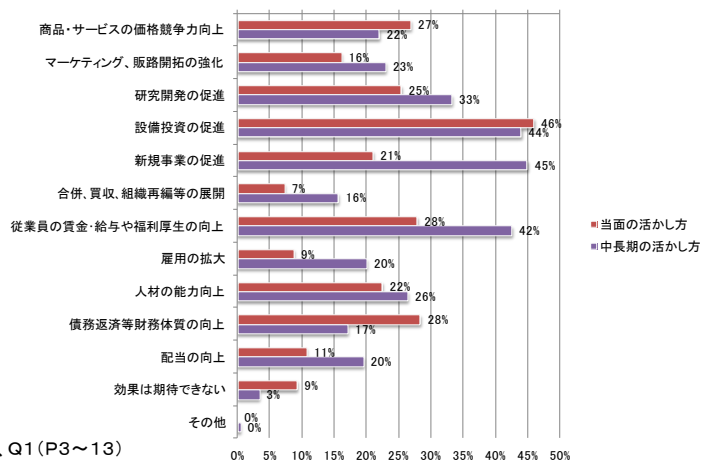
業種	回答数	比率
建設業	31	15%
製造業	76	37%
非製造業	98	48%
合計	205	100%

1

2. 法人税負担軽減メリットの活用方法

○中長期ではより戦略的な事業活動に投下される

<当面と中長期における法人税引き下げによる負担軽減メリットの活かし方>



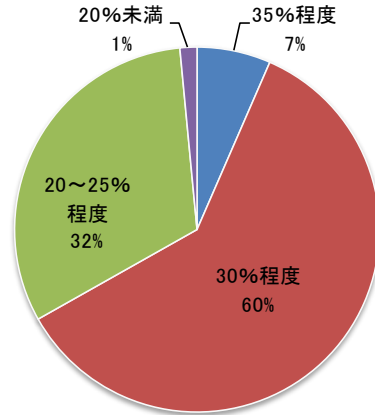
* 詳細は、Q1(P3~13)
* 対象は全産業。複数回答。

2

3. 望ましい法人実効税率

○現状からの引き下げを望む声が9割を超えている

<わが国の望ましい法人実効税率>

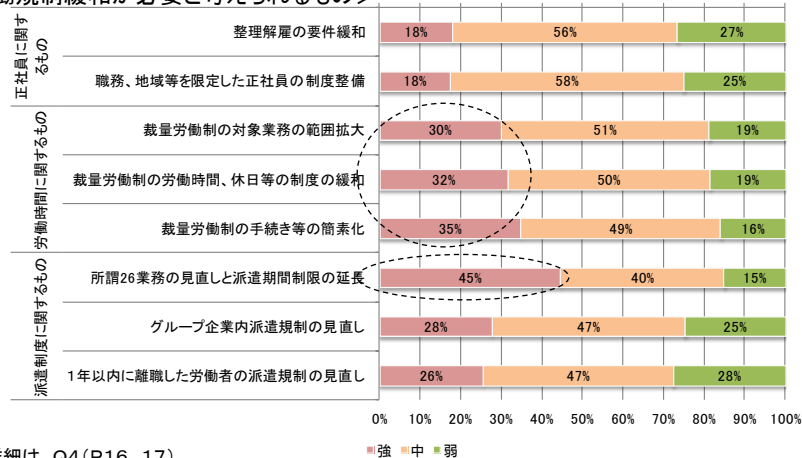


* 詳細は、Q2(P14)
* 対象は全産業。単一回答。

4. 労働規制の緩和、多様な働き方

○裁量労働制の拡大、労働派遣の期間制限の延長が必要

<労働規制緩和が必要と考えられるもの>

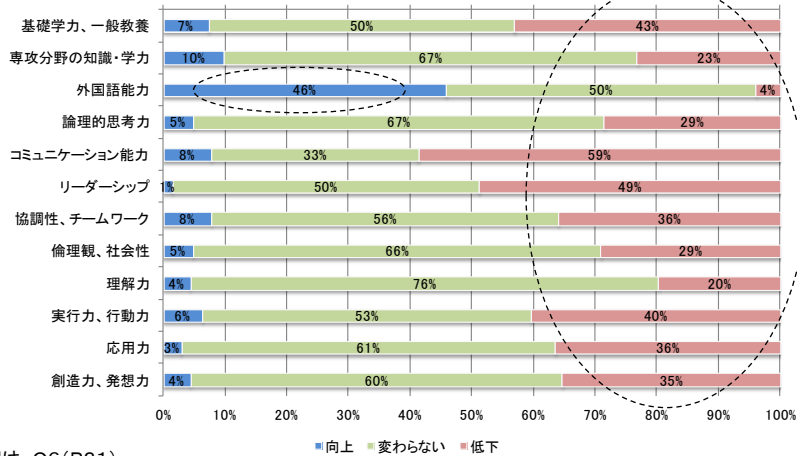


* 詳細は、Q4(P16、17)
* 対象は全産業。項目毎に単一回答。

5. 学生および若年労働者の能力 ①

○外国語能力以外の能力は全て低下

<以前と比べた学生および若年労働者の能力の変化>



* 詳細は、Q6(P21)

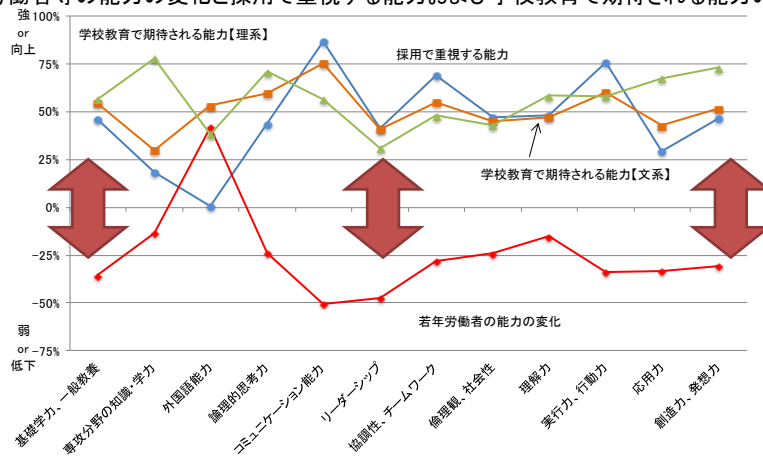
* 対象は全産業。項目毎に単一回答。

5

5. 学生および若年労働者の能力 ②

○実際の能力と採用で重視する能力、学校教育で期待される能力にはミスマッチが発生

<若年労働者等の能力の変化と採用で重視する能力および学校教育で期待される能力の比較>



* 詳細は、Q5～7(P19～27)

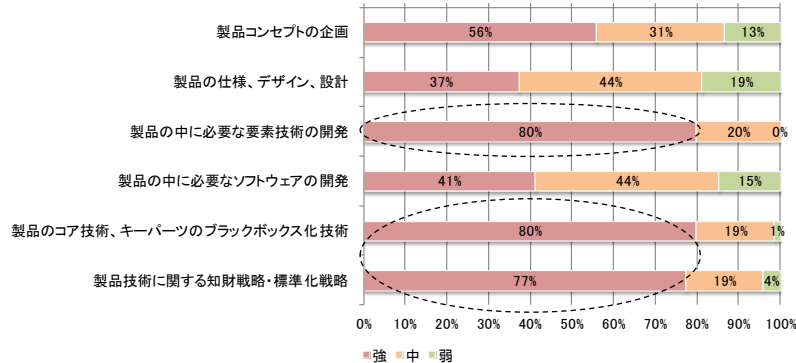
* 対象は全産業。項目毎に単一回答。

6

6. 国内に保持すべき技術 ①

○製品技術では、製品のコアとなる技術とその知財・標準化戦略を国内に保持すべき

<国内に保持すべきと考える製品技術>



* 詳細は、Q8(P28)

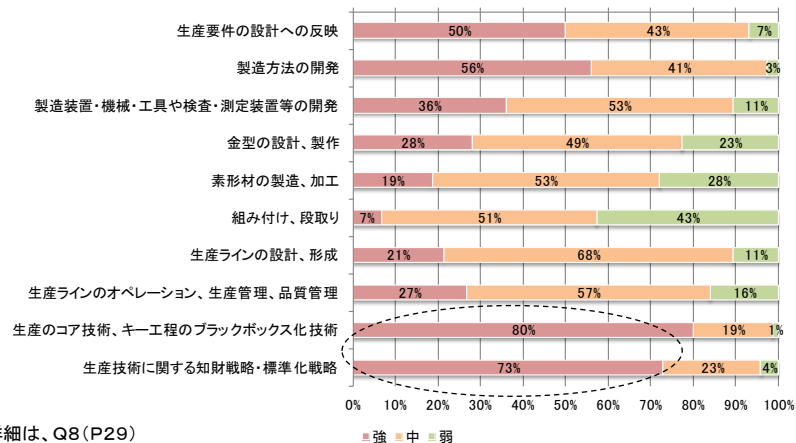
* 対象は製造業のみ。項目毎に単一回答。

7

6. 国内に保持すべき技術 ②

○生産技術では、生産のコア技術、キー工程のブラックボックス化技術とその知財・標準化戦略を国内に保持すべき

<国内に保持すべきと考える生産技術>



* 詳細は、Q8(P29)

* 対象は製造業のみ。項目毎に単一回答。

8

7. 海外に展開する機能の範囲

○製品技術は、一部のキーパーツの生産機能まで
生産技術は、機密にする必要性が低い製造工程まで
〈海外展開に展開する機能の範囲〉

選択肢	回答数	回答率	回答率 累計
【A. 製品技術に関する機能】			
1 キーパーツの生産を伴わない製品の生産機能	17	23%	23%
2 一部のキーパーツの生産を伴う製品の生産機能	31	41%	64%
3 かなりのキーパーツの生産を伴う製品の生産機能	22	29%	93%
4 海外展開しない	5	7%	-
5 その他	0	0%	-
【B. 生産技術に関する機能】			
1 機密にする必要性が無い製造工程のみからなる生産機能	8	11%	11%
2 機密にする必要性が低い製造工程を有する生産機能	51	68%	79%
3 機密にする必要性が高い製造工程を有する生産機能	11	15%	93%
4 海外展開しない	5	7%	-
5 その他	0	0%	-

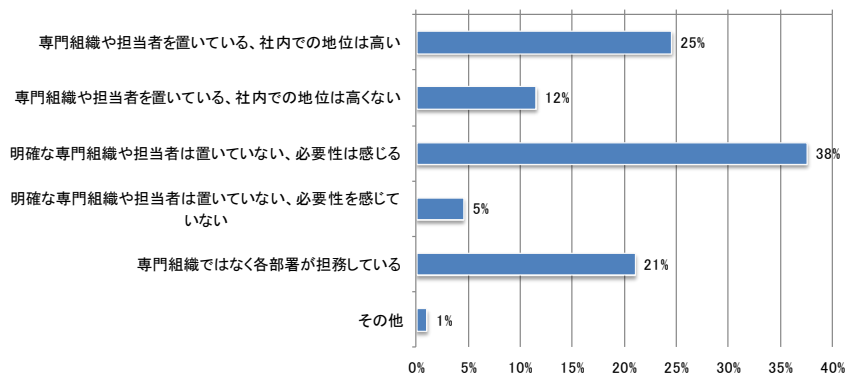
* 詳細は、Q9(P30)

* 対象は製造業のみ。項目毎に単一回答。

9

8. ビジネスモデル革新、イノベーション、知財戦略・標準化戦略 ①

○ビジネスモデル革新、イノベーション、知財戦略・標準化戦略を担う専門組織や担当者のニーズは高いが、実際には十分に配置できていない
〈ビジネスモデル革新、イノベーション、知財戦略・標準化戦略を担う組織の現状〉



* 詳細は、Q10(P31)

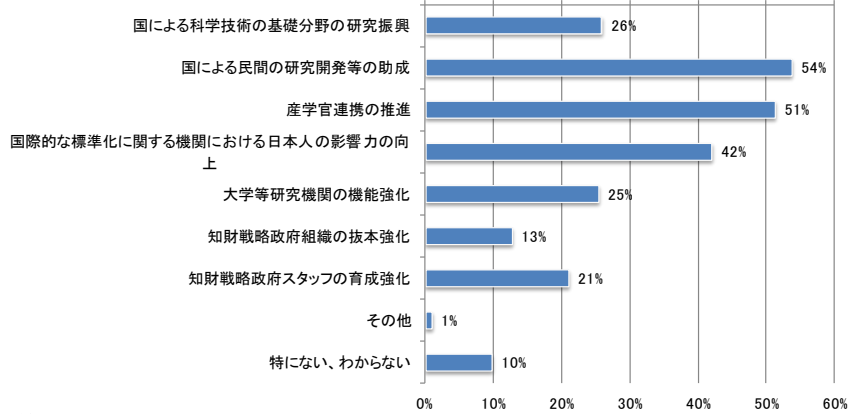
* 対象は全産業。単一回答。

10

8. ビジネスモデル革新、イノベーション、知財戦略・標準化戦略 ②

○国に対する要望は、民間研究開発の助成、産学官連携の推進、国際的な標準化機関における日本人の影響力向上

<ビジネスモデル革新、イノベーション、知財戦略・標準化戦略に関する国に対する要望>



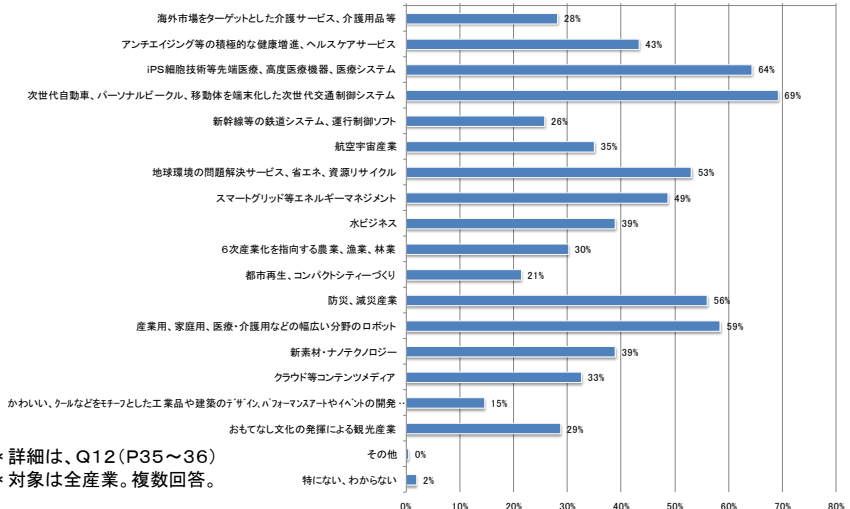
* 詳細は、Q11 (P33)
* 対象は全産業。複数回答。

11

9. 新成長市場の掘り起こし、内需活性化、産業構造転換促進

○幅広い分野で今後の成長が期待されている

<今後顕在化すると考えられるニーズや成長が見込まれる市場、産業>



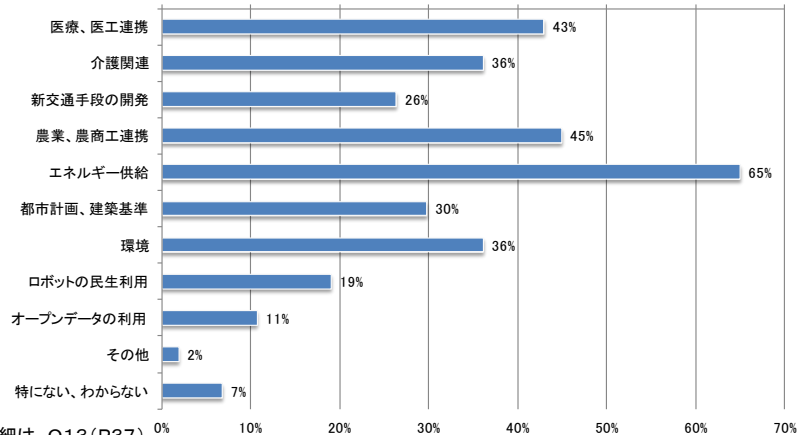
* 詳細は、Q12 (P35~36)
* 対象は全産業。複数回答。

12

10. 規制の改革、創設整備

○幅広い分野で規制の改革、創設整備が必要と考えられている

<規制の改革もしくは創設整備が必要と考えられる分野>



* 詳細は、Q13(P37)

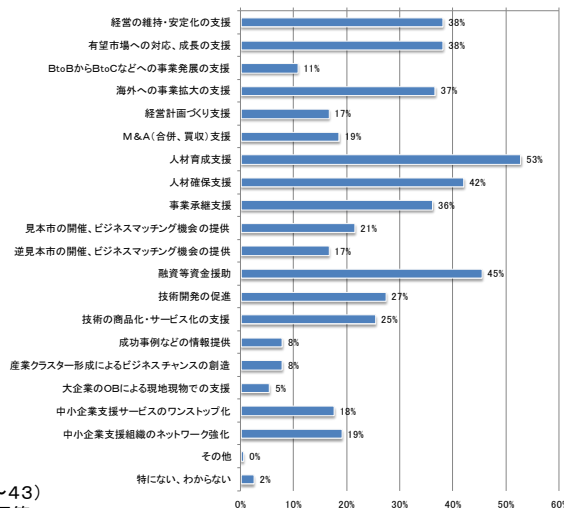
* 対象は全産業。複数回答。

13

11. 中小企業の支援

○人材育成・確保、経営安定化、成長、海外展開、事業承継、技術開発・商品サービス化の支援に力点を置くべきと考えられている

<中小企業の支援で力点を置くべき施策>



* 詳細は、Q15(P42~43)

* 対象は全産業。複数回答。

14